

GASAIRE グラフテンプレートの使用方法

はじめに

GASAIRE グラフテンプレートは、簡単にグラフの作成を行うためのテンプレートです。GASAIRE で収集された[稼働データ]を[CSV ファイル]に変換。その CSV ファイルの中の[基本データ]をグラフ化します。

本書は[グラフテンプレート]を用いて GASAIRE の[稼働データ]から取得した[CSV ファイル]中の[基本データ]に関するグラフを作成するためのマニュアルです。

本[グラフテンプレート]で作成するグラフは以下となります。

総 CPU 利用率グラフ

メモリー空き容量グラフ

ディスク利用率グラフ

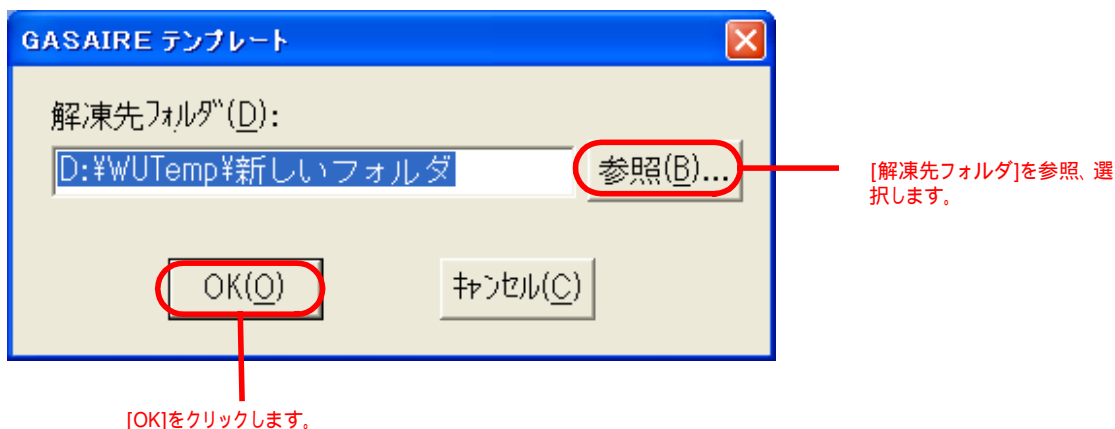
1. グラフテンプレートの準備

[グラフテンプレート]のデータは4 MB を超えるので、自己解凍形式で圧縮しています。ここでは、圧縮された自己解凍データからグラフテンプレートである[テンプレート.xls]ファイルの作成を行います。

蒼天ホームページ (<http://so-ten.co.jp/download/>) からグラフテンプレート [template.exe] をダウンロードしてください。



ダウンロードされた[template.exe]を起動し、解凍先フォルダを指定してください。

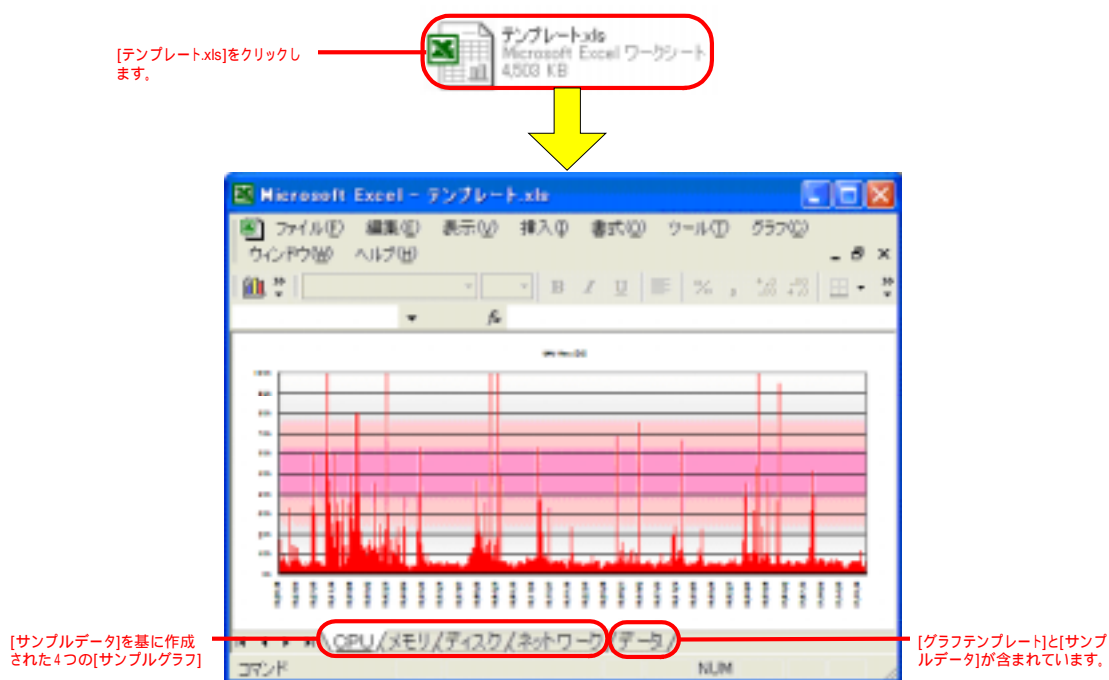


[テンプレート.xls]ファイルが作成されます。これで解凍作業は完了です。



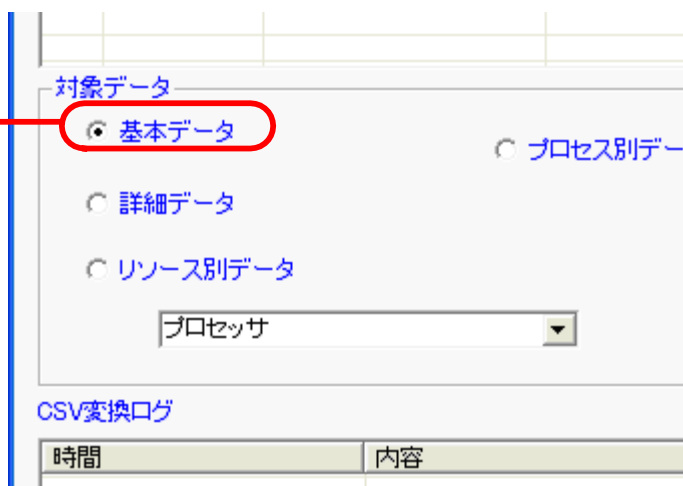
2. GASAIRE で収集された稼動データにグラフテンプレートを適用

[テンプレート.xls]には、[グラフテンプレート]とサンプルの[データ]をグラフ化した4つの[サンプルグラフ]が含まれています。ここでは、GASAIRE で収集された[稼動データ]を[グラフテンプレート]に適用します。

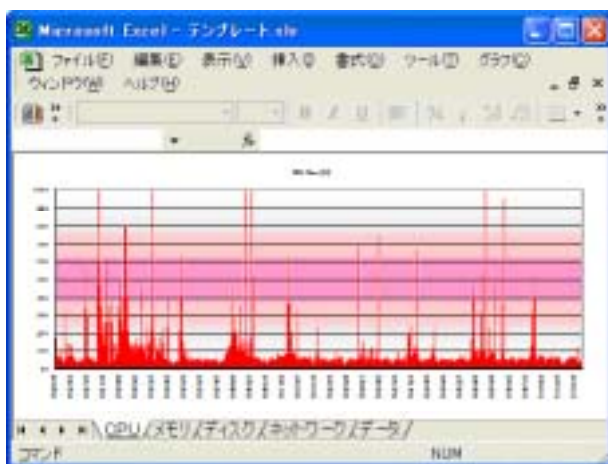


GASAIRE「CSV ファイルの作成」から対象データを基本データとし、CSV ファイルを作成します。保存されるファイル名は任意に命名することができます。

必ず基本データを選択して下さい。



[テンプレート.xls]と、前項「 」で作成された2つのファイルを開いてください。

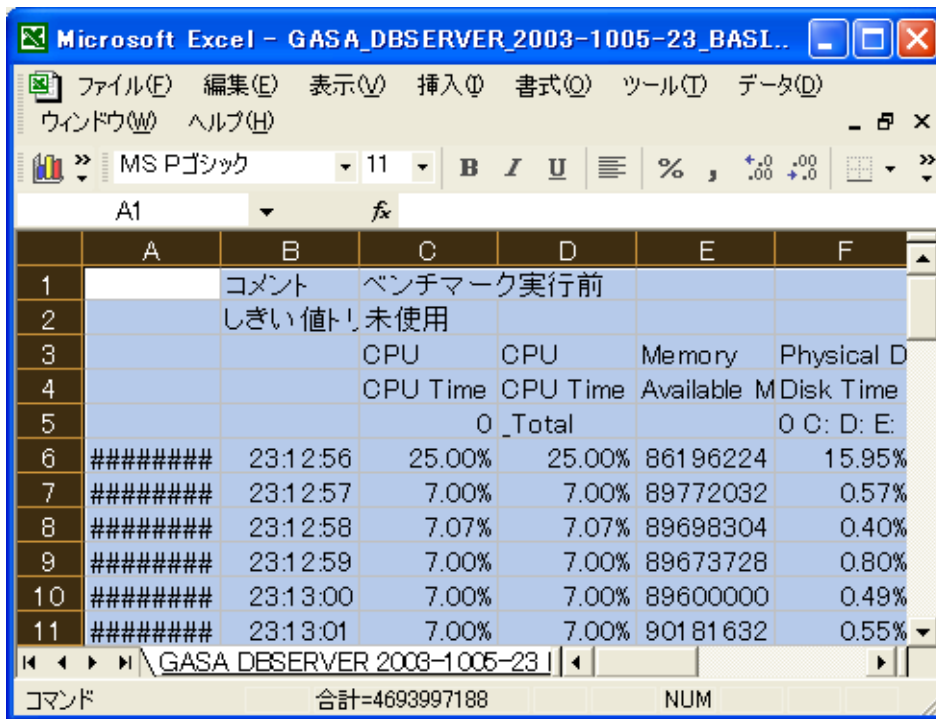


テンプレート.xls

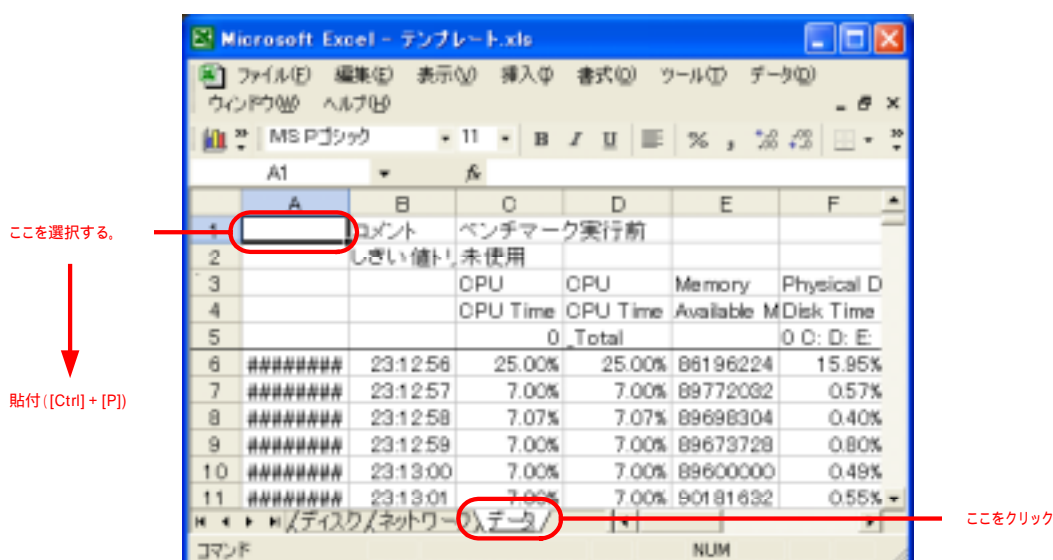
	A	B	C	D
1		コピット	ベンチマーク実行前	
2		しきい値以上未使用		
3			CPU	CPU
4			CPU Time	CPU Time
5			O_Total	
6	#####	14.35.03	27.76%	27.76%
7	#####	14.35.04	7.37%	7.37%
8	#####	14.35.05	10.00%	10.00%
9	#####	14.35.06	5.05%	5.05%
10	#####	14.35.07	5.00%	5.00%
11	#####	14.35.08	4.08%	4.08%

前項「 」で作成されたCSVファイル

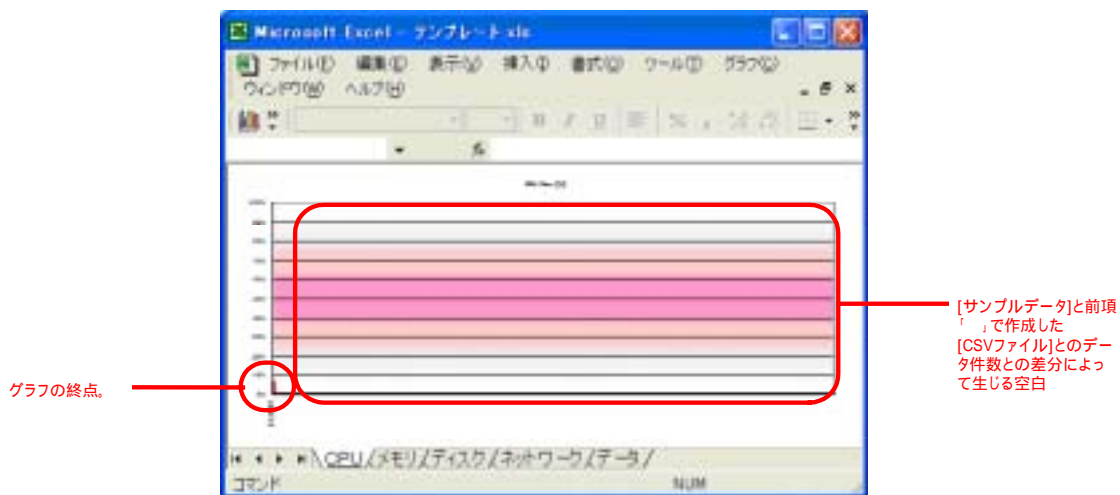
前項「 」で開いた CSV ファイル上ですべてを選択 ([Ctrl]+[A]) した後、データをコピー ([Ctrl]+[C]) して下さい。



[テンプレート.xls]の[データ]タブを押し、[サンプルデータ]を表示させます。その後 A1 セルを選択し、前項「 」でコピーしたデータを貼り付け ([Ctrl]+[P]) して下さい。



自動的にグラフの内容が更新されます。データ件数が[テンプレート.xls]のサンプルデータと前項「 」で作成した CSV ファイルとで異なるため右端の部分に空白の部分ができますので、「3 . グラフ編集」を行います。



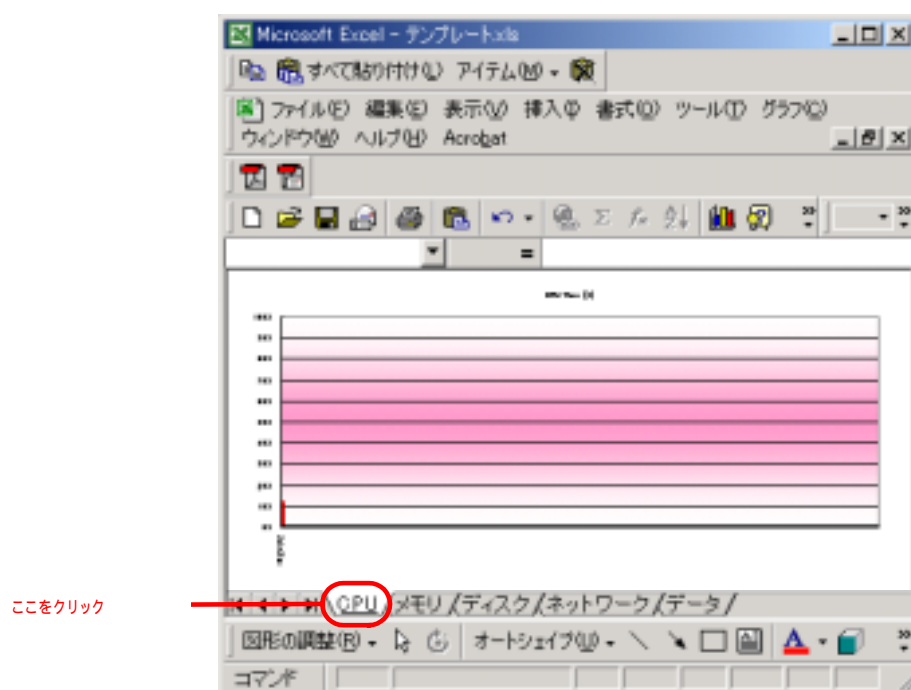
3. グラフの編集

ここでは、グラフテンプレートに適用されたデータのグラフ範囲の設定を行ない、正しく表示されるように変更します。この設定はグラフ毎に必要になります。

3-1.総 CPU 利用率グラフ

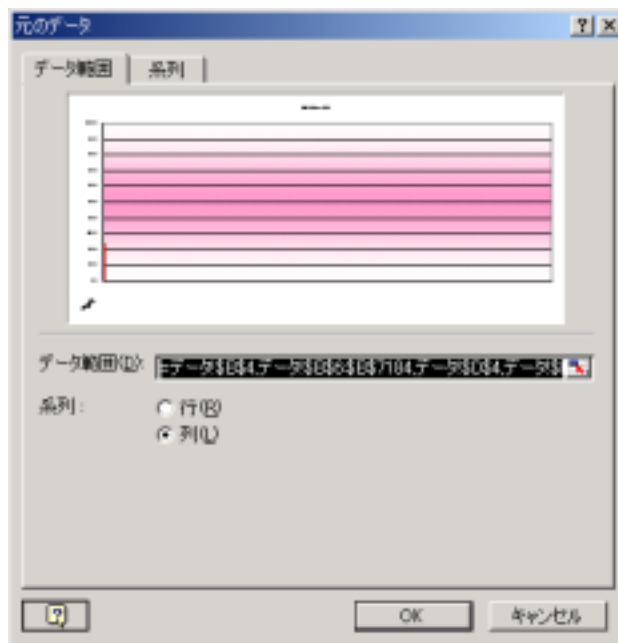
手順 :

[テンプレート.xls]で[CPU]タブをクリックします。



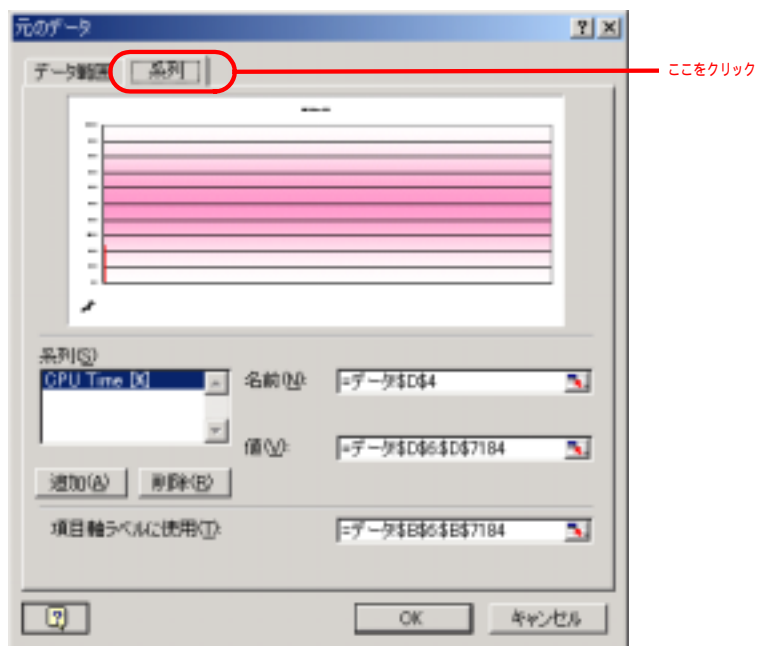
手順 :

[グラフ(C)]メニューの[元のデータ(S)]をクリックすると、[元のデータ]ウィザードが表示されます。



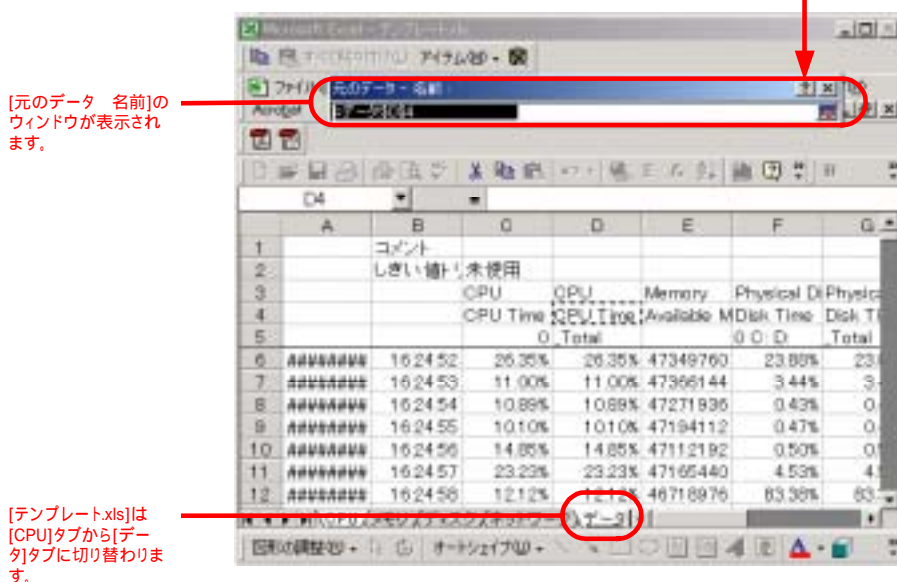
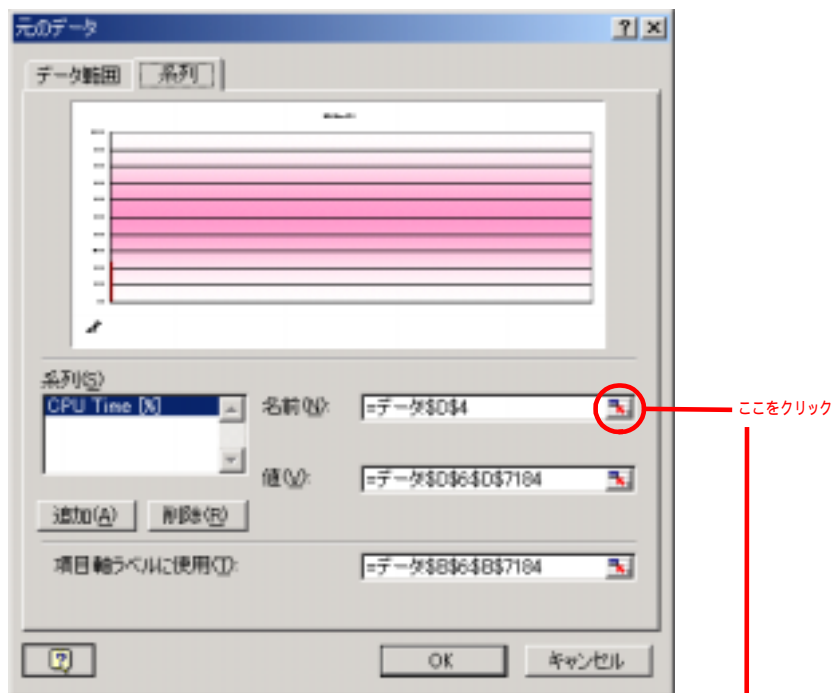
手順 :

[元のデータ]ウィザードの[系列]タブをクリックします。



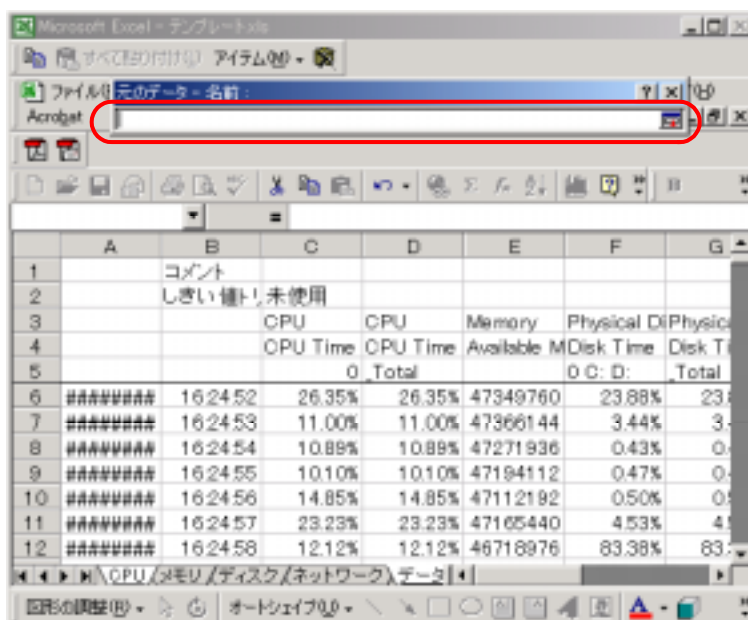
手順 :

[名前(N)]の右端の赤い矢印ボタンをクリックすると、[元のデータ 名前]のウィンドウが開き、[テンプレート.xls]は[データ]タブに切り替わります。



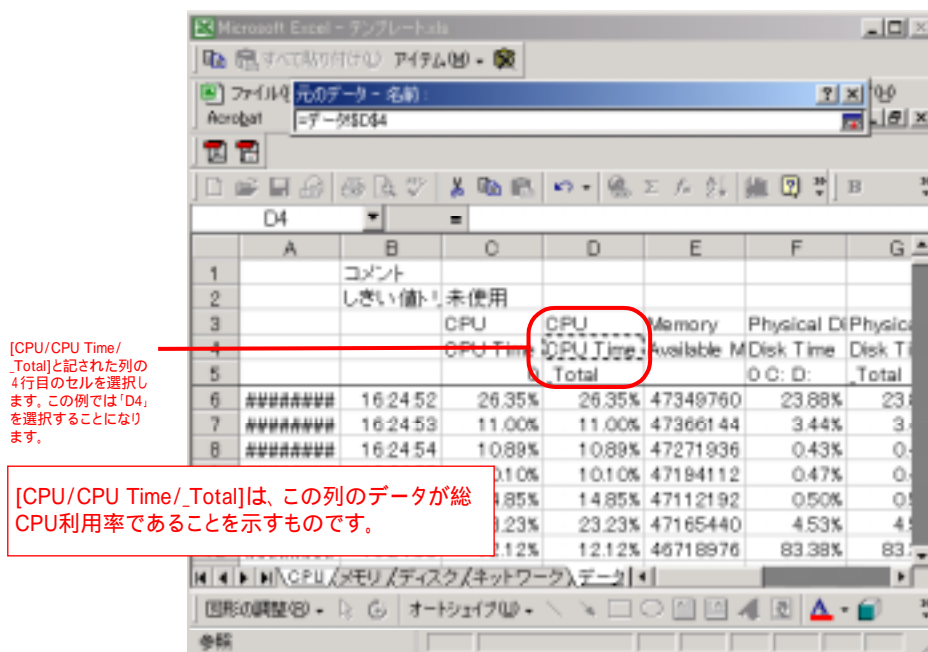
手順 :

[元のデータ 名前]ウィンドウの欄内に記載された文字列を、キーボードの[BackSpace]キーで消去します。



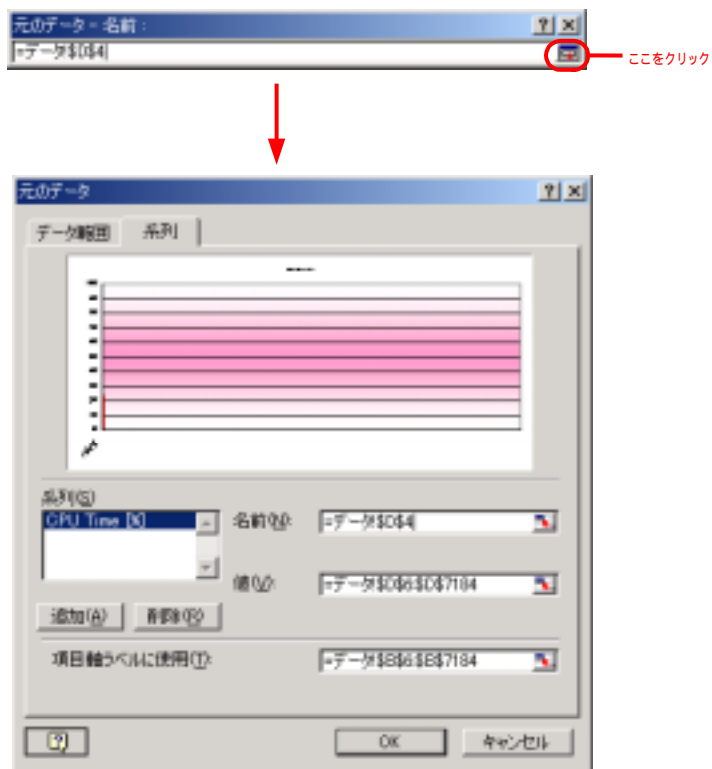
手順 :

[CPU/CPU Time/_Total]と書かれている列の4行目を選択してください。この例ではD列の4行目 (D4) を選択することになります。



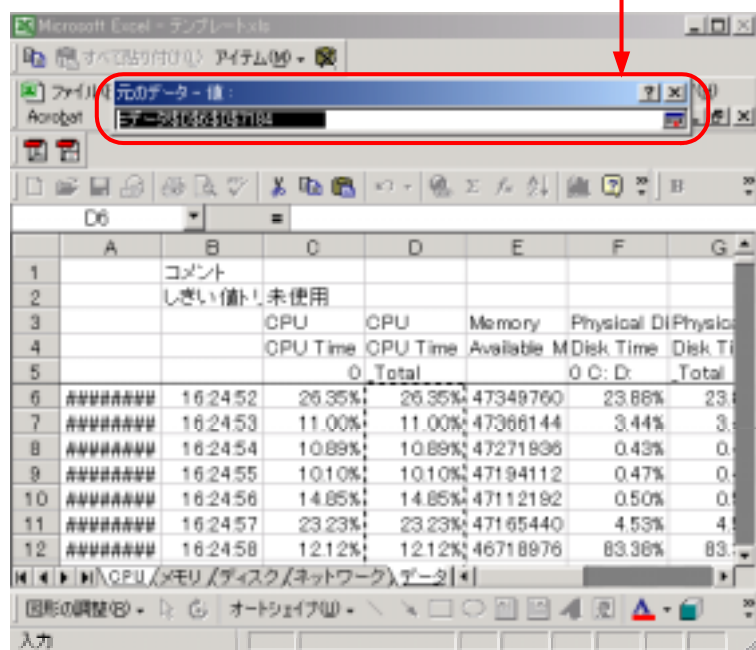
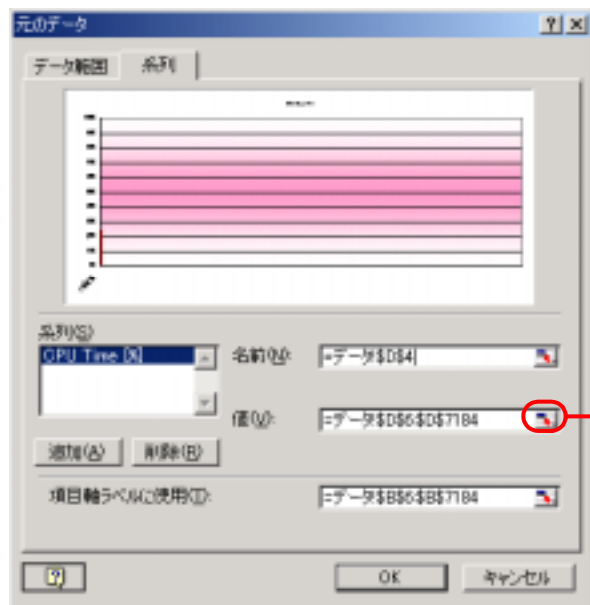
手順 :

[元のデータ 名前]のウィンドウの赤い矢印をクリックし、[元のデータ]ウィザードに戻ります。



手順 :

[値(V)]の右端の赤い矢印をクリックし、[元のデータ 値]のウィンドウが表示されます。

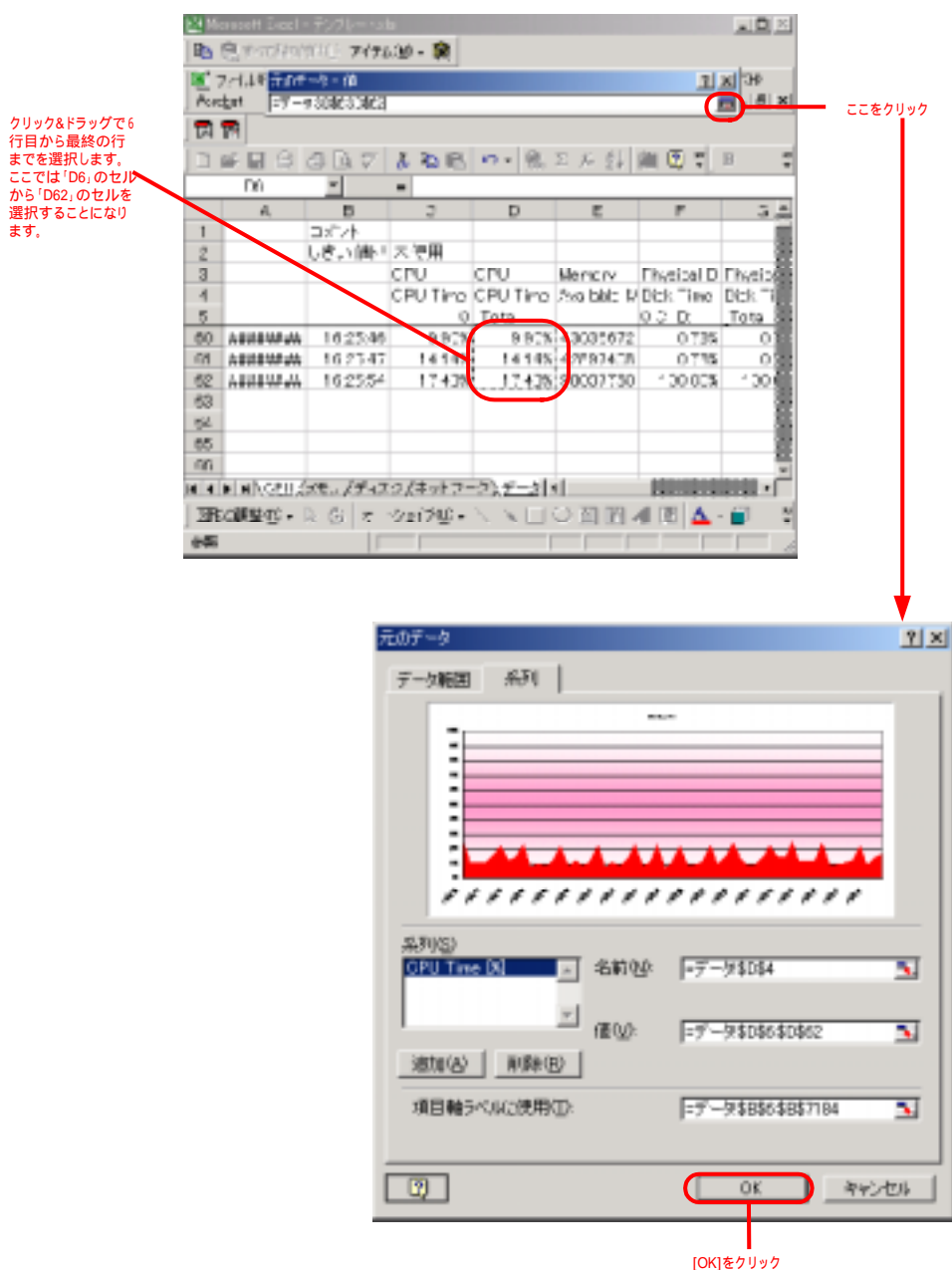


手順 :

[テンプレート.xls]のデータタブで、[CPU/CPU Time/_Total]の列 (D 列) の6 行目のセル (D6) を選択し、データが表示されている最終の行までをクリック&ドラッグで選択します。この例では D62 のセルまでを選択します。

その後に[元のデータ 値]ウィンドウの右端の矢印をクリックすると、[元のデータ]ウィザードに戻ります。

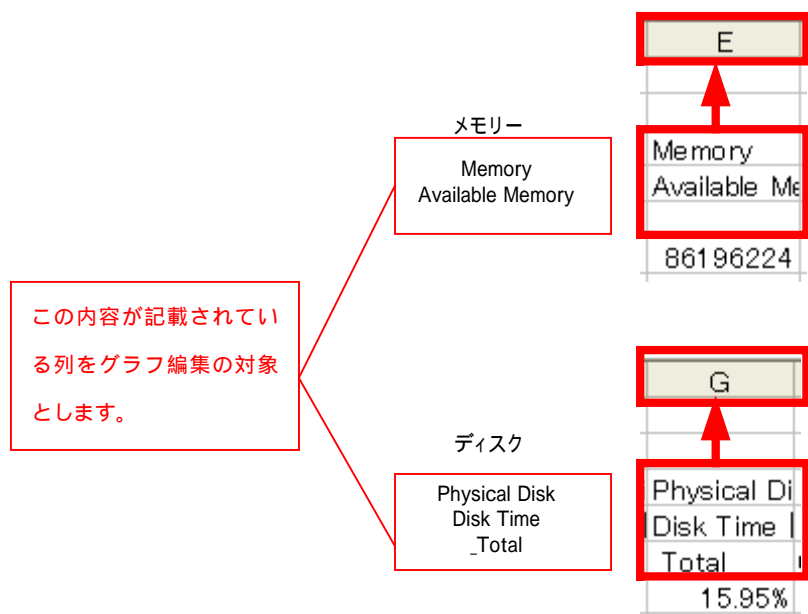
[元のデータ]ウィザードで[OK]ボタンをクリックするとグラフは自動的に更新されます。これで[総 CPU 利用率グラフ]の編集は完了です。



3-2. メモリ空き容量、ディスク利用率グラフ

[メモリ空き容量グラフ]、[ディスク利用率グラフ]についても、[CPU 利用率グラフ]と同様に編集を行うことができます。

対象となる列は、それぞれ下記のとおりです。

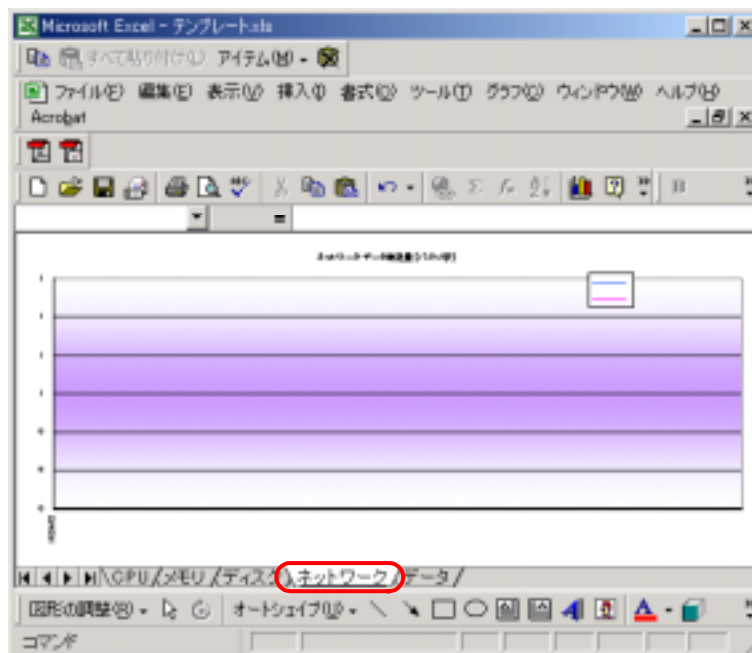


3-3.ネットワークのグラフ

CPU・メモリー・ディスクの場合とは異なりネットワークの場合各ネットワークカード (NIC)毎にデータが作成されます。このため、NIC が複数あるシステムでは NIC の数だけグラフを作成する必要があります。作業の流れは CPU、メモリ、ディスクの場合とほぼ同様ですが、複数を取扱うため一部の作業が異なります。

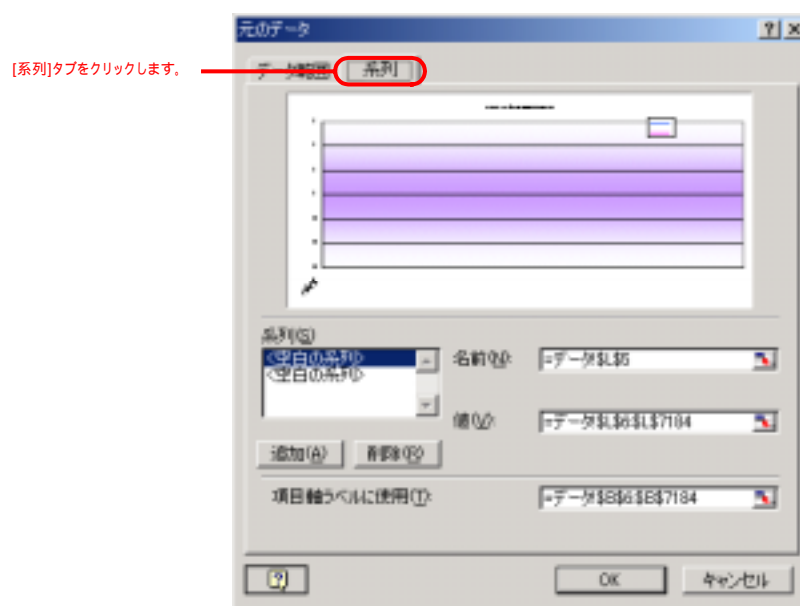
手順 :

[テンプレート.xls]で[ネットワーク]タブをクリックします。



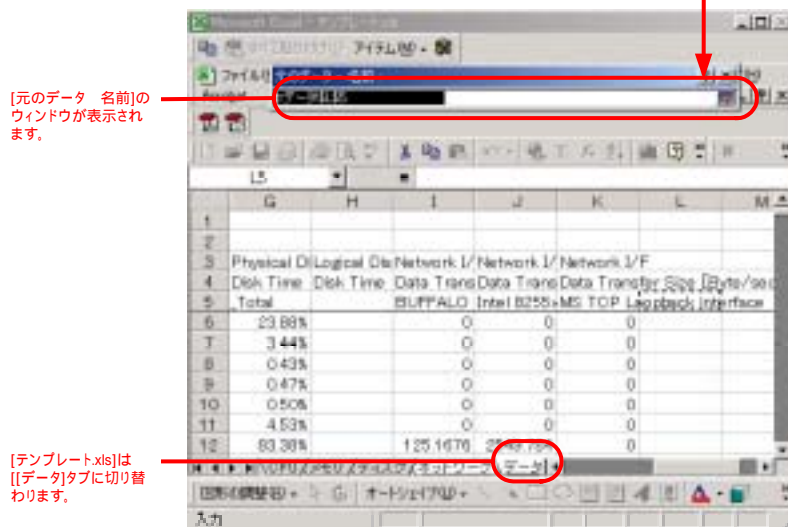
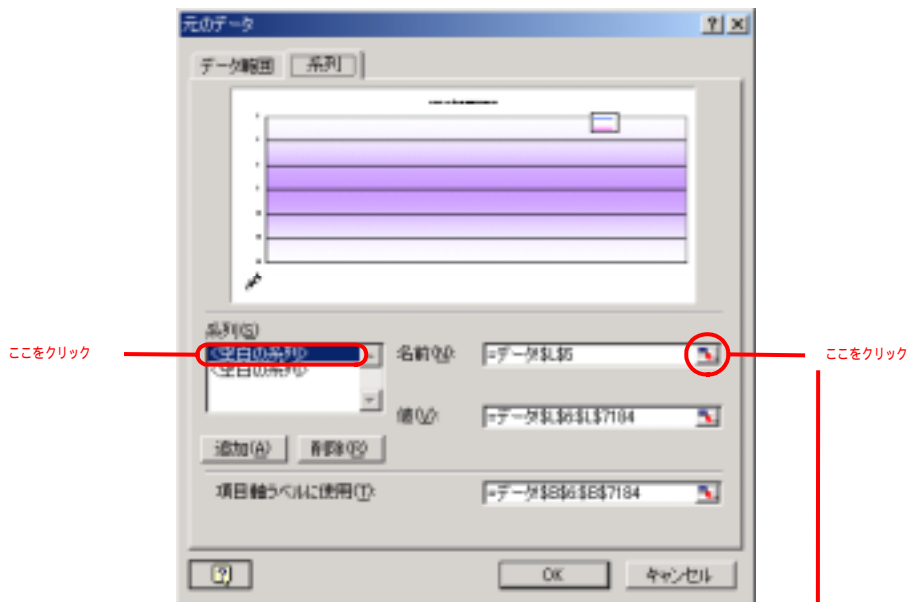
手順 :

[グラフ(C)]メニューの[元のデータ(S)]をクリックすると、[元のデータ]ウィザードが表示されます。その後に[系列]タブをクリックします。



手順 :

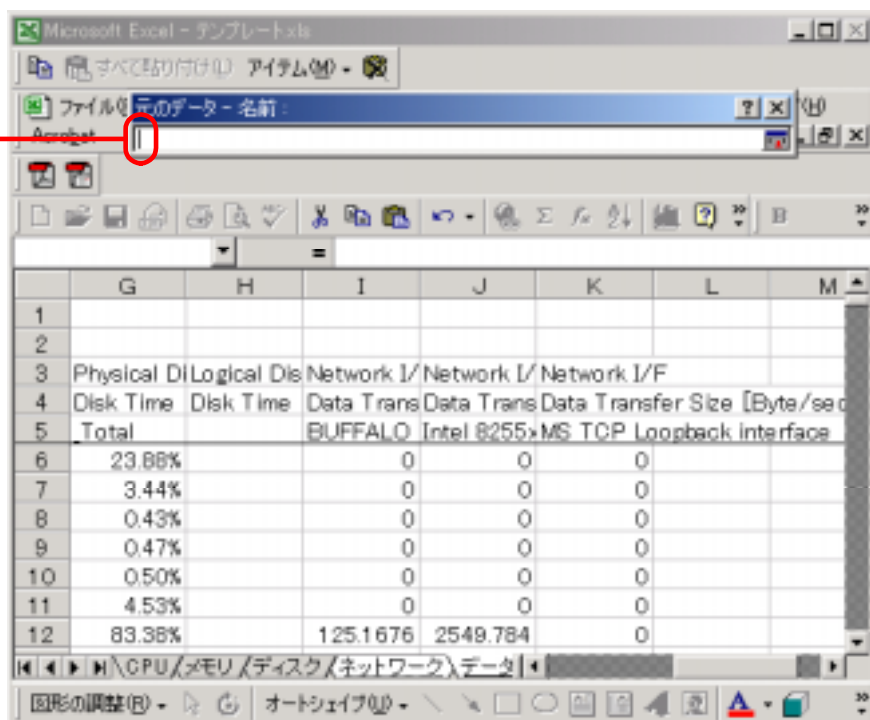
[系列(S)]の欄に 空白の系列 という表示が2つあることを確認します。上段の 空白の系列 をクリックします。[名前(N)]の右端の赤い矢印ボタンをクリックすると、[元のデータ 名前]のウィンドウが開き、[データ]タブに切り替わります。



手順 :

[元のデータ 名前]ウィンドウの欄内の文字列をキーボードの[BackSpace]キーで消去します。

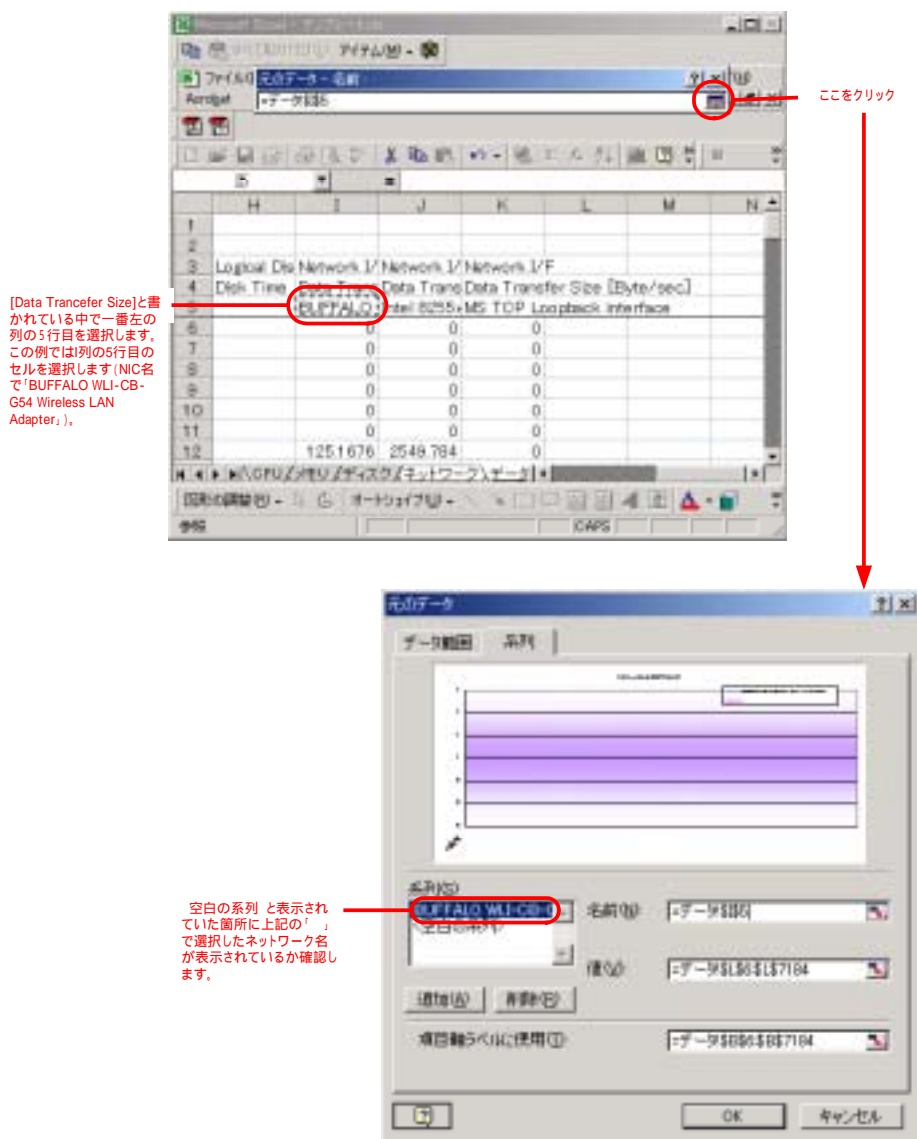
キーボードの
[BackSpace]キーで文
字列を消去します。



手順 :

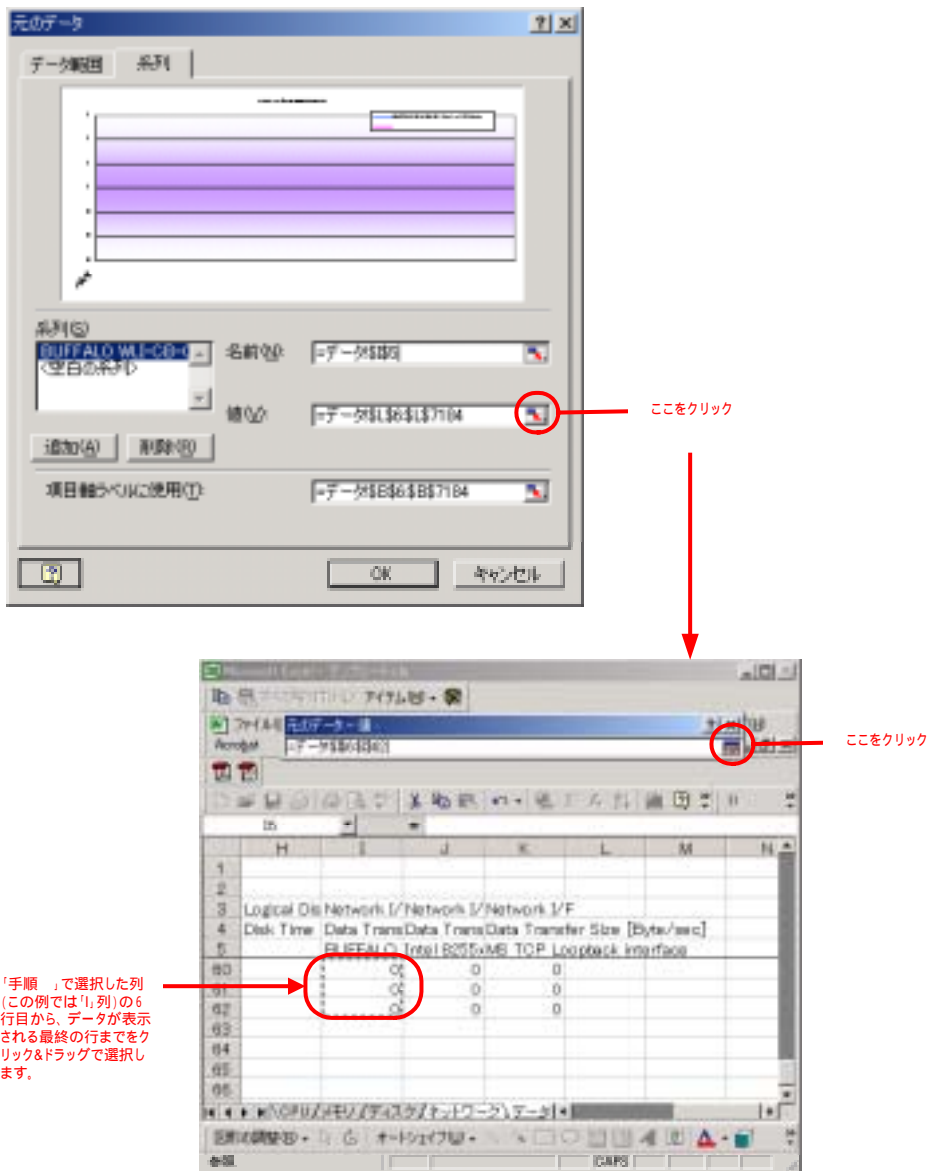
[テンプレート.xls]の[ネットワーク]タブ上で、[Data Trancefer Size]と記されている列の5行目を選択してください。[Data Trancefer Size]と書かれている列はネットワークカード(NIC)の数だけ存在します。まずは[Data Trancefer Size]と書かれている中で一番左の列の5行目を選択します(この例ではI列の5行目のセルになります)。このセルはNICの名前となっております。この例では、「BUFFALO WLI-CB-G54 Wireless LAN Adapter」になります。

その後[元のデータ 名前]ウィンドウの右端の赤い矢印をクリックし、[元のデータ]ウィザードに戻ります。[元のデータ]ウィザードでは[系列(S)]の欄に「BUFFALO WLI-CB-G54 Wireless LAN Adapter」が表示されているか確認します。



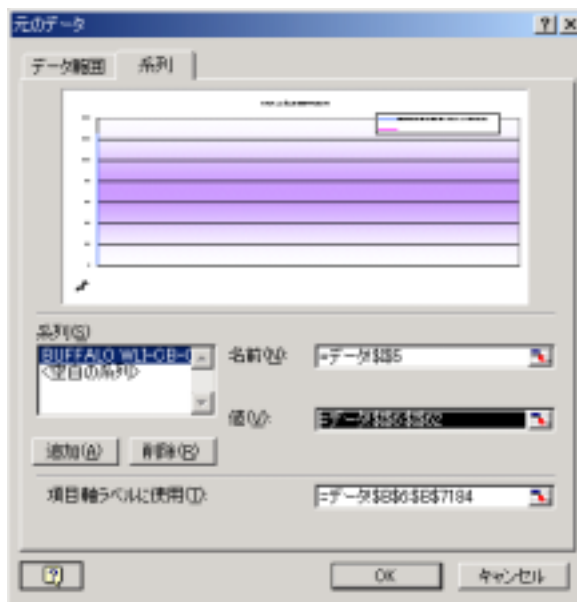
手順 :

「手順」で選択した列の6行目から、データが表示されている最終の行までをクリック & ドラッグで選択します。

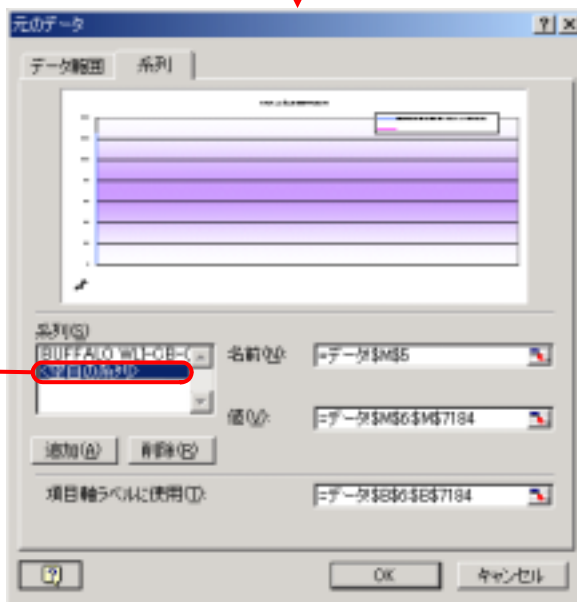


手順 :

[手順]を完了すると、[元のデータ]ウィザードに戻ります。その後、[系列(S)]の欄の2つ目の 空白の系列 をクリックします。



2つ目の 空白の系列 をクリック



他の NIC に対しても「手順 」～「手順 」と同様の操作を行うことによって、[ネットワーク]グラフの編集は完了します。